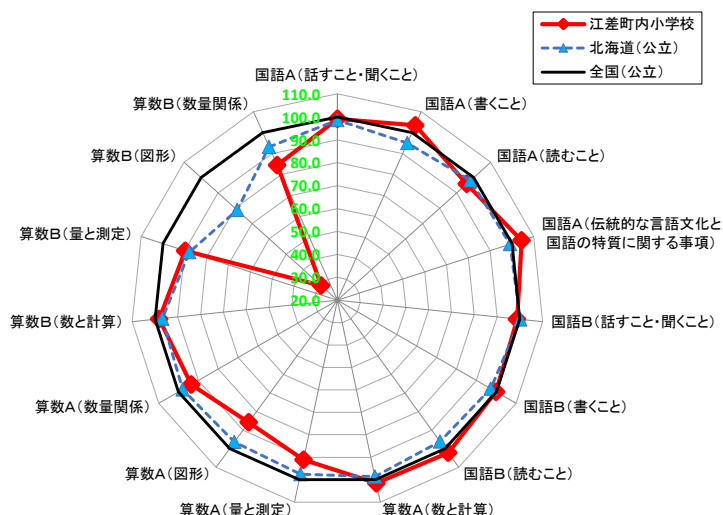


■江差町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:51人)

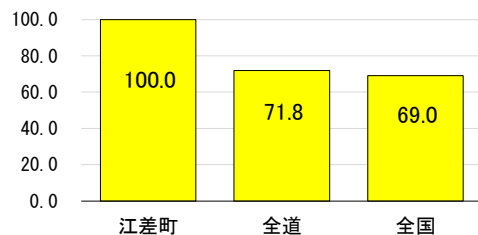
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

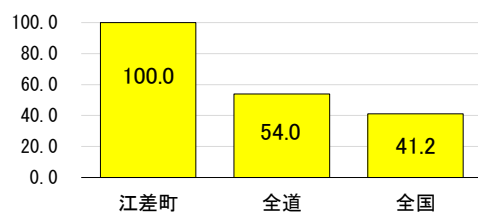


【学校質問紙調査】

授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)を書くように指導した

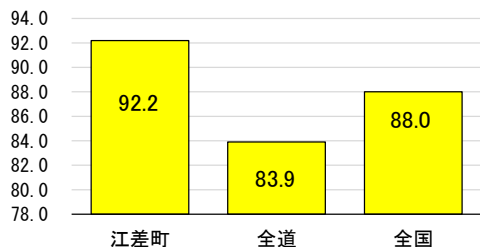


家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした

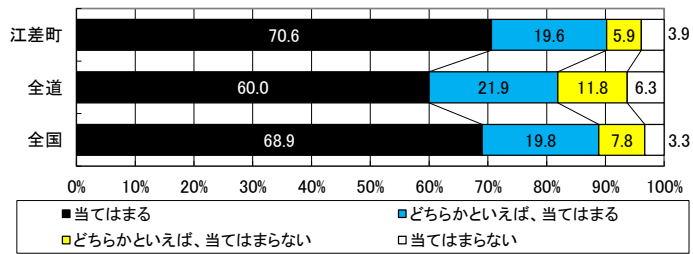


【児童質問紙調査】

家で、学校の宿題をしている



授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていましたか



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」で全国を上回っている。 ○ 算数Bでは、「数と計算」「量と測定」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中一貫教育、小中連携教育の充実を図ったことにより、各小学校で一貫した取組が行われ、学力向上に成果が現れたと考えられる。 ○ すべての学校が、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導したことにより、それらを書いていると思う児童の割合が増えたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていました」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしたことによって、家で、学校の宿題をする児童の割合が増えたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した」と回答している。 ○ すべての学校が、「家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答している。 	

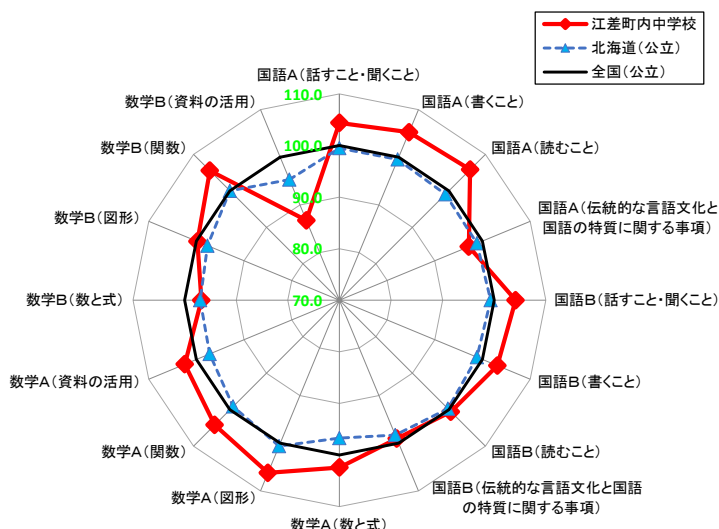
【江差町の学力向上策】

- ◎ 各種調査の分析結果及び授業改善の方策等を検討する「江差町基礎学力向上対策会議」の設置
- ◎ 学校・家庭・地域が一体となった生活習慣・学習習慣の確立
- ◎ 小中一貫教育の充実(町内2校)
- ◎ 小中連携教育「トライアングル・サポート」(町内3校)の充実

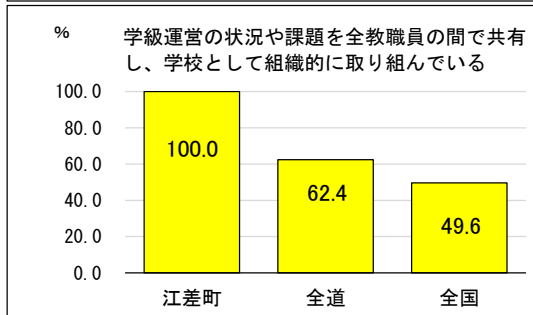
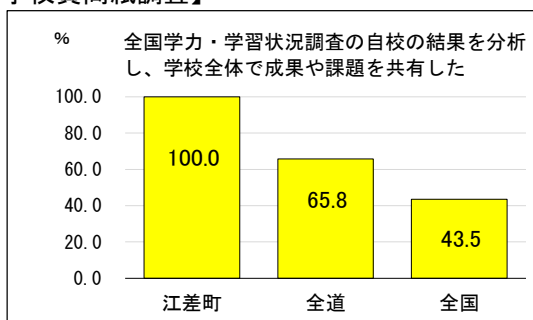
■江差町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:61人)

【教科全体の状況】

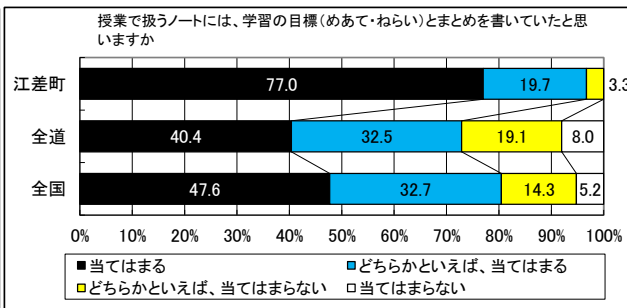
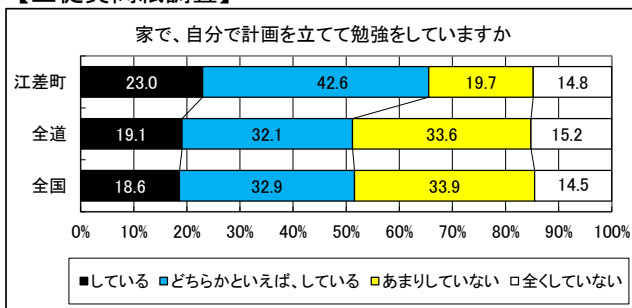
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「関数」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中一貫教育、小中連携教育の充実を図ったことにより、各中学校で一貫した取組が行われ、学力向上に成果が現れたと考えられる。 ○ すべての学校が、全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有し、授業改善を推進したことにより、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書く生徒の割合が増えたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が、家庭と連携するとともに、学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んだことにより、家で、自分で計画を立てて勉強をする生徒の割合が増えたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有した」と回答している。 ○ すべての学校が、「学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる」と回答している。 	

【江差町の学力向上策】

- ◎ 各種調査の分析結果及び授業改善の方策等を検討する「江差町基礎学力向上対策会議」の設置
- ◎ 学校・家庭・地域が一体となった生活習慣・学習習慣の確立
- ◎ 小中一貫教育の充実(町内2校)
- ◎ 小中連携教育「トライアングル・サポート」(町内3校)の充実